

# 落石トメジロー

落石トメジローは、斜面上の不安定な転石・浮石の滑動や転倒を抑止する落石防止対策工法です。

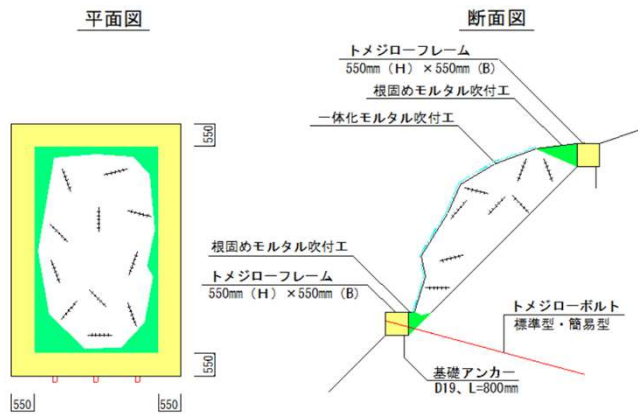
## 特長

- ◆ 根固めモルタルでトメジローフレームと不安定な転石を強固に一体化
- ◆ プレストレスを導入できるトメジローボルトで転石の滑動を抑止
- ◆ 転倒が懸念される場合はワイヤーロープ掛工併用の「転倒防止型」を選択可能
- ◆ 独自の乾式吹付システムの適用により、遠方や高所（ホース延長L=500m、高低差H=150mまで）の転石にも対応可能



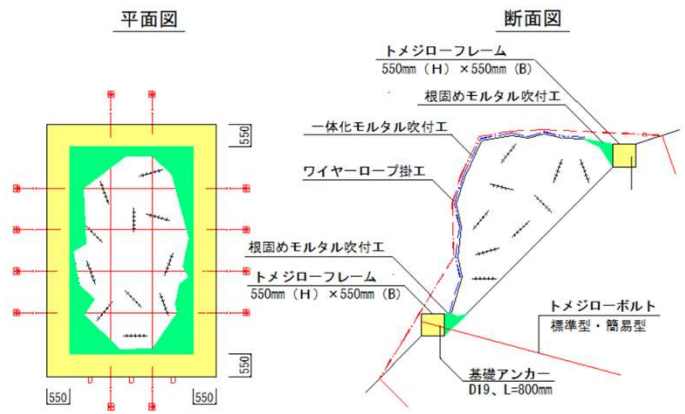
不安定な転石を一体化し、滑動と転倒を抑止した例

## 滑動防止型



- トメジローフレームによって地山との付着面積を増加
- トメジローボルトによって転石の変位を抑止

## 転倒防止型



- 転石とトメジローフレームを一体化して重心位置を低下
- ワイヤロープ掛工を併用することで転倒を抑止

## 専用部材

### ◆ トメジローフレーム

- モルタル吹付によって造成される落石トメジロー専用の吹付基礎および支承構造物で、転石の重心位置低下（転倒防止効果）と付着面積増加（滑動防止効果）の役割があります。
- トメジローボルトの受圧構造物として機能します。

### ◆ トメジローボルト

- アンボンドPC鋼より線と特殊定着部材を組み合わせた落石トメジロー専用の補強材で、構造が自由長部をもつグラウンドアンカーに近いので、プレストレスを導入できます。
- 自由長部に特殊補剛管を採用したことで、高いせん断抵抗力を有しています。
- 設計引張り力に応じて、工法タイプを「標準型」と「簡易型」から選択します。

タイプ	設計引張り力	削孔径	補強材有効長
標準型	～110kN/本	φ90mm	L=5.0m（自由長3.0m+定着長2.0m）
簡易型	～70kN/本	φ65mm	L=3.0m（自由長2.0m+定着長1.0m）

※設計引張り力110kN/本を超える場合はグラウンドアンカーの適用を検討する



トメジローボルトの定着部（上：標準型、下：簡易型）

